

(社) 日本建築学会 近畿支部
2017 年度第 4 回空気環境部会議事録 (案)

日時：2017 年 11 月 15 日 (水) 17:00-19:30

場所：大阪市立大学梅田サテライト 116 号室

出席者：東 (実), 河野, 小林 (幹事), 中村, 檜崎, 松尾, 山中 (主査)、竹村 (記録) (敬称略)

資料：・議事次第 資料 4-0
・第 2 回議事録 資料 4-1
・部会員名簿 (11/15 現在) 資料 4-2
・平成 30 年度予算請求書 資料 4-3
・話題提供資料：大日本私立衛生会雑誌 (小林) 資料 4-4
・話題提供資料：ISO17772-1 (山中) 資料 4-5
・話題提供資料：ASHRAE Standard 62.1-2016 (山中) 資料 4-6

議事：

1. 前回議事録案の確認

- ・年度末のシンポジウムの日程が 3/19(月)で確定したことが確認された。
 - ・10/27 のシンポジウムが第 3 回部会であることが認められ、今回が第 4 回であることが確認された。
- ⇒学会支部への第 3 回の部会開催報告 (出席者名簿・配布資料) は小林幹事から行う。

2. 委員の入退会について

- ・松岡委員が退会し、光野委員が入会することが承認された。
- ・部会員名簿が古い情報のままの委員もおられる。

⇒年度更新時に全委員に「継続意思の確認」を行うことを念頭に、継続審議とする。

3. 大阪建築技術協会共催シンポジウム「学びの環境を考える～学校建物の快適性を目指したやさしい環境制御～」(10/27) の開催報告

- ・第 3 回部会と位置づけることになった。対応は 1 に示したとおり。
- ・当日の出席者が 130 名を超える盛会だった。

4. 年度末のシンポジウムについて

- ・下記の通り仮決めして関係者に依頼することにした。加藤氏への依頼は山中主査、李委員への依頼は小林幹事から行う。

タイトル：室内の熱・空気環境予測の最前線 (仮) (司会：甲谷先生)

- ・山中先生：置換換気室内におけるガス状汚染物及び飛沫核の分布性状 (仮)
- ・小林先生：床面衝突噴流を用いた準置換換気 (IJV) 方式の温度分布予測 (仮)
- ・李先生：住宅のエネルギーシミュレーションと CFD の連成解析 (仮)
- ・松尾先生：観測データを用いた CFD 解析の精度向上手法 (仮)
- ・加藤氏 (鹿島建設)：オフィスにおけるペリメータ空間の暖房環境評価手法 (仮)
- ・河野先生：測定データを反映したリアルタイム CFD 解析 (仮)

(共同研究先の了解が得られれば)

- ・開催日時は 3/19(月)13:30-17:00 とし、場所は大阪工大 OIT タワー (河野先生確認)、阪大中之島センター (山中先生確認) の 100 名程度の教室で調整する。
- ・加藤氏は委員外のため、関東からの旅費と謝金を見込む。
- ・残予算は、このシンポジウムの交通費・謝金・印刷費にて完全消化する見込みである。

4. 話題提供について

- ・小林委員から、明治 17 年に始まる炭酸ガス測定と換気の考え方に関する資料が紹介された。

5. その他

- ・U40 の現在の問題点と今後の存続・展開について議論された。次年度までは従来ベースの開催とし、継続して部会で内容や WG のタイトルを含めて考える。

6. 次回部会の予定

- ・日時：2018 年 1 月 29 日 17:00-

以上